

ヤマトホソガムシ

Hydrochus japonicus Sharp

コウチュウ目ホソガムシ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー なし

選定理由

かつては全国的に普通であったが、近年、個体数が少なくなったようである。県内でも、長期間にわたって確認されていない。

形態

体長2.6~3.1mm。体型は長細く、両側はほぼ平行で、体色は黒色。上翅は暗褐色となるが、緑~藍色の金属光沢を有する。付属物は黄褐色。前胸背には5~6個の凹陷があり、上翅は粗大点刻列を具える。第3、7、9間室が明瞭に隆起し、第5間室が隆条となる。体下面は光沢を欠き絨毛状となる。

国内分布

本州、四国、九州、琉球列島。

県内分布

金沢市の1944年の記録、金沢市粟崎における1959年の記録のみである。粟崎では海岸の藻の下から生体が得られたが、その後10年ほどの継続調査では確認されなかった。

生態

成虫は灯火に飛来するとされる。県内では6月に確認されている。

生息地の条件

一般的には、平野部の水生植物の豊富な自然の池沼、湿地などの止水域である。

生存の危機

池沼、湿地の埋め立てなどの様々な開発による消失、水質汚染。採集地周辺の再調査および平野部の自然環境の豊かな池沼における生息調査を行うことが先決である。(A)

参考文献

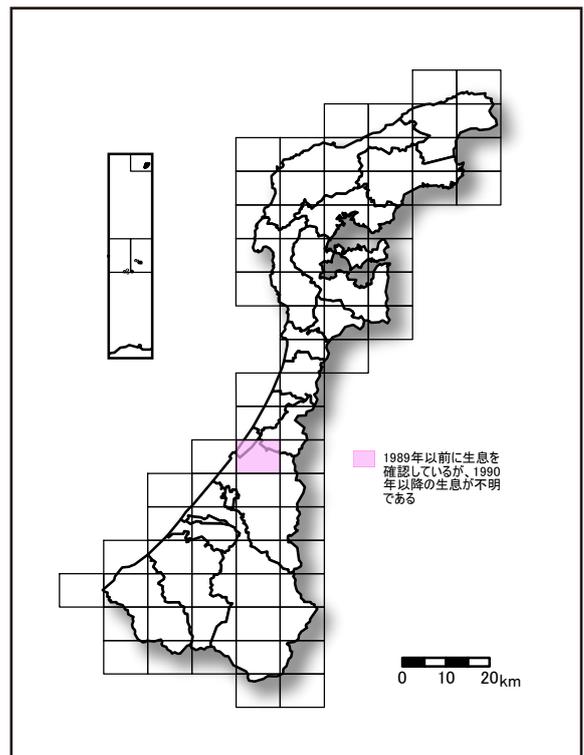
佐藤正孝 1978. 日本産ホソガムシ科概説. 甲虫ニュース, (40) : 1-3.

佐藤正孝・吉富博之 2005. 日本産水棲昆虫の分類学的覚え書きIV. 甲虫ニュース, (151) : 1-6.

林 成多 2007. 島根県産水生甲虫類の分布と生態. ホシザキグリーン財団研究報告, (10) : 77-113.



標本提供者: 高羽正治



県内の分布